

FX NEWS PRESS

2025年
3月号

2025年3月4日発行
FXニュースプレス
(No.219)

AIゴールド証券
コンサルティング部
Tel: 03-6861-8181

今月の注目通貨ペア (P3)

米ドル円

*CFTCの円ポジションが
過去最大の買い越し*

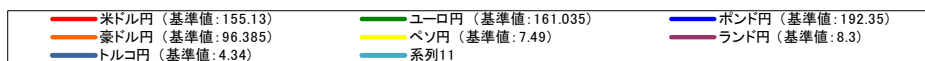
【各種掲載のご案内】

- ▶ HP内でもFX NEWS PRESSや週間のテクニカルレポートWeek Ryreportを公開！
- ▶ FXやコモディティ、株価指数の市場情報を日々更新！マーケットコメント！で公開！

詳しくはホームページをご覧ください

AIゴールド証券 <https://www.aigold.co.jp>

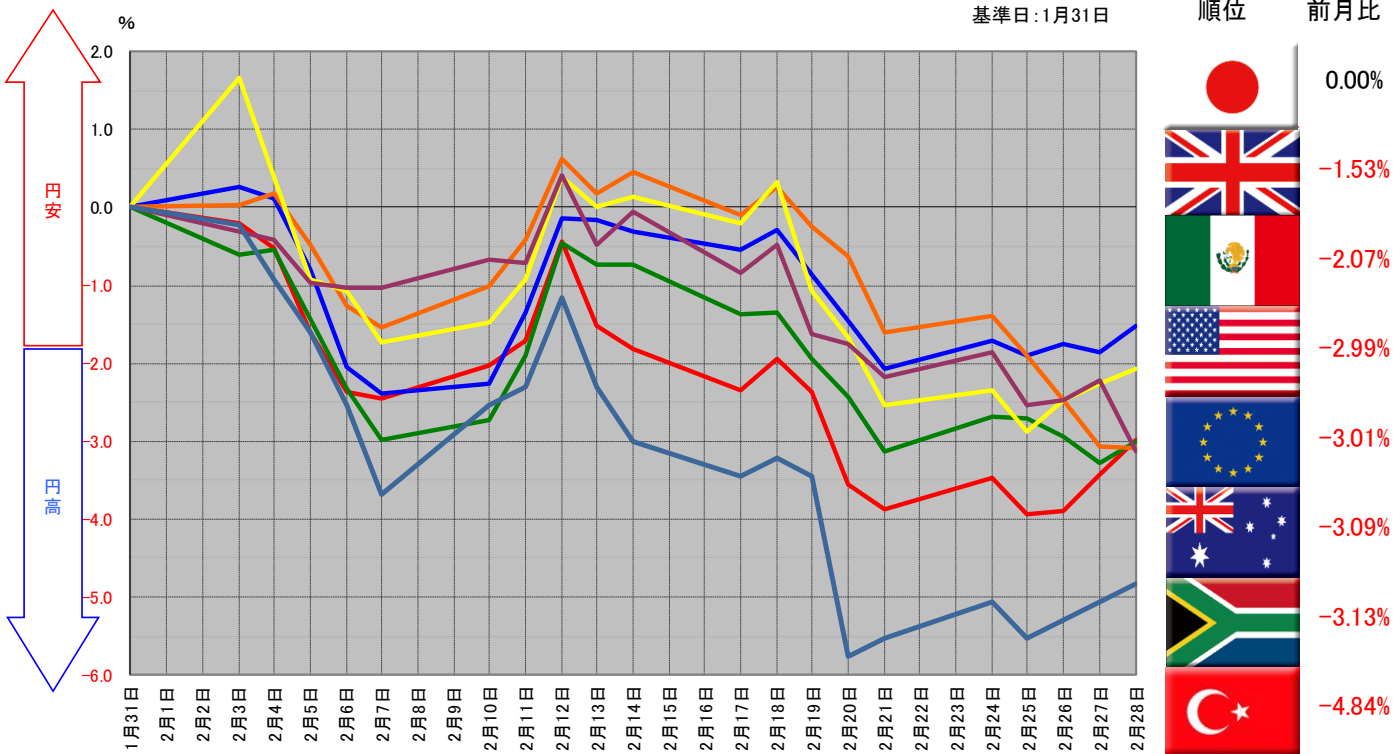
AIゴールド証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員



2月28日時点評価

基準日: 1月31日

順位 前月比



2月3日 関税発動延期で円売り優勢

トランプ大統領はメキシコとカナダからの輸入品に25%の関税を課す大統領令に署名した。関税の引き上げが米国の物価上昇や消費減速などにつながるおそれがあり、ダウ平均が一時660ドル超下落。リスク・オフの円買い・ドル売りが優勢となった。しかし、米国とメキシコが不法移民やフェンタニルを巡り合意し、対メキシコの関税発動が1カ延期されたため警戒感が後退し、一気に買い戻される展開となった。

2月6日 BOE政策金利

英中銀が金融政策委員会(MPC)で市場予想通り0.25%の利下げを決定、2名の委員が0.5%の利下げを支持するハト派的な利下げとなったためポンド売りが加速。その後、段階的で注意深いアプローチが適切と指摘されたほか、ベイリー総裁がインフレリスクを巡り「両サイド」にあると指摘したためポンド売りが後退。ロンドン時間に一時1.2360ドル付近まで下落していたが、1.24ドル台に買い戻された。

2月7日 米雇用統計

米労働省が発表した12月雇用統計では非農業部門雇用者数が前月比25.6万人増と予想の16.0万人増を大幅に上回り、失業率が4.1%と予想の4.2%より強い結果となったことを受けて長期金利が急伸するとドル買いが優勢となり、一時158.87円と昨年7月12日以来半年ぶりの高値を付けた。なお、米10年債利回りは一時4.7860%前後と23年11月以来の高水準を記録した。

2月12日 米消費者物価指数

米労働省が発表した1月消費者物価指数(CPI)が総合・コア指数ともに市場予想を上回ったことが分かったと、米長期金利の指標となる10年債利回りの上昇とともにドル買いが優勢となった。その後も、パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長が米下院金融サービス委員会で「関税を理由に政策金利を変更せざるを得なくなる可能性も」と述べたことも相場の支援材料となり、一時154.80円と日通し高値を更新した。

2月14日 消費減速でドル売り優勢

米商務省が発表した1月米小売売上高は前月比0.9%減と市場予想の0.2%減を大幅に下回ったうえ、自動車を除いたベースでは0.4%減と予想の0.3%増に反して減少となった。米10年債利回りの低下とともにドル売りが優勢となり、一時152.03円と日通し安値を更新した。市場では「FRBによる年内利下げ期待が維持され、日米金利差縮小への思惑から円買い・ドル売り地合いが強まった」との声が聞かれた。

2月18日 RBA政策金利

豪準備銀行金融政策会合の結果が発表され、政策金利は4.35%から4.10%に引き下げられた。利下げは4年超ぶり。事前にほぼ織り込み済みだったが、専門家予想でも一部ながら金利据え置きの見通しが出ていたこともあり、発表直後は少し豪ドル売りとなった。その後、ブロック総裁会見では今後の利下げに慎重な姿勢が見られ、金利発表直後の高値を超えて上昇も0.6368ドルまでにとどまっている。

2月24日 関税リスクでドル堅調

日本が天皇誕生日で東京市場が休場となる中、アジア市場では一時148.85円と昨年12月3日以来の安値を付けた。その後、23日投開票の独総選挙が「事前の世論調査に沿った結果だった」として、時間外のダウ先物が大幅に上昇するとドル買いが強まり、一時149.87円と日通し高値を更新した。また、トランプ大統領がメキシコ、カナダに対する関税は計画通り進められるとの発言で下値も限定的となった。

2月25日 景気悪化懸念でドル下落

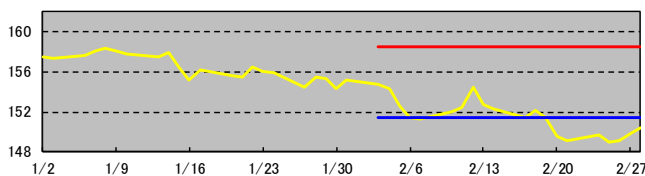
米2月CB消費者信頼感指数が前月から大幅低下し予想外に98.3と大台の100を割り込み景気悪化懸念が強まったことから、全般ドル売りが活発化となった。目先のサポートとして意識されていた昨年12月3日の安値148.65円を下抜けると、一時148.57円と昨年10月11日以来約4か月半ぶりの安値を更新した。さらに、ベッセント米財務長官の「民間セクターはすでに景気後退入り」との発言もドル売りを支援した。

2月27日 トランプ大統領の関税再表明

トランプ大統領は自身のSNSに「メキシコとカナダに対する関税を予定通り3月4日に発動。中国に対しても10%の追加関税を課す」と投稿。米政権による関税政策が国内の物価上昇圧力につながるの見方からドル買いが優勢となった。節目の150.00円を上抜けると一時150.16円と日通し高値を更新。ただ、米国株相場が軟調に推移したことが相場の重しとなり、149円台後半で取引を終了した。

ドル円

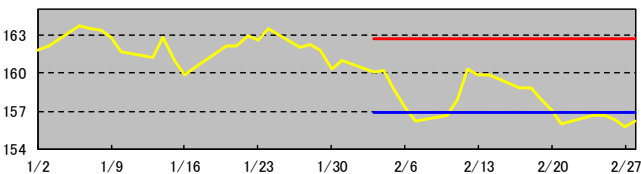
予想レンジ下限	予想レンジ上限
151.50	158.50



逆張り方針 評価【×】
 コメント
 予想レンジを下抜けて推移した。

ユーロ円

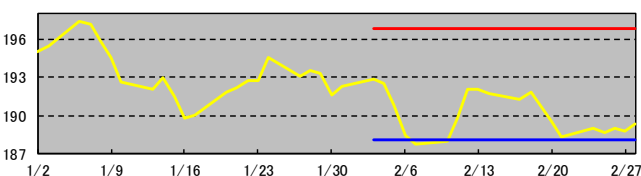
予想レンジ下限	予想レンジ上限
156.90	162.70



逆張り方針 評価【×】
 コメント
 予想レンジを下抜けて推移した。

ポンド円

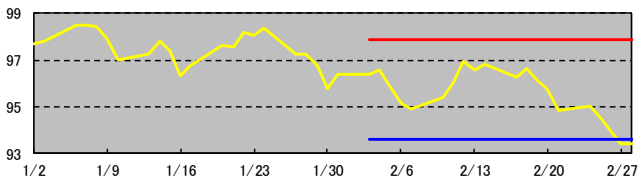
予想レンジ下限	予想レンジ上限
188.10	196.80



逆張り方針 評価【○】
 コメント
 予想レンジ内で概ね推移した。

豪ドル円

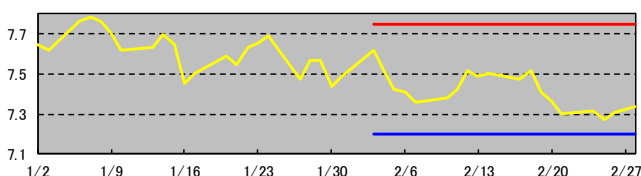
予想レンジ下限	予想レンジ上限
93.60	97.90



逆張り方針 評価【○】
 コメント
 想レンジ内で概ね推移した。

ペソ円

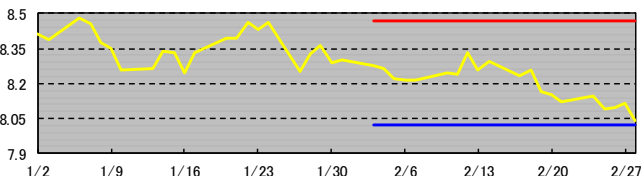
予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.20	7.75



逆張り方針 評価【○】
 コメント
 予想レンジ内で推移した。

ランド円

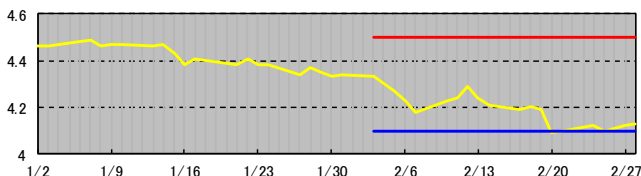
予想レンジ下限	予想レンジ上限
8.02	8.47



逆張り方針 評価【○】
 コメント
 予想レンジ内で推移した。

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
4.10	4.50



逆張り方針 評価【○】
 コメント
 予想レンジ内で概ね推移した。

米ドル/円 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 153.40円
 ↓ 145.90円



2024年10月1日～2025年2月28日
 米ドル/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。2月の値動きから導き出した計算値(153.38)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、10/4安値(145.90)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(145.90)を下抜けた場合。この場合は10/2安値(143.42)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

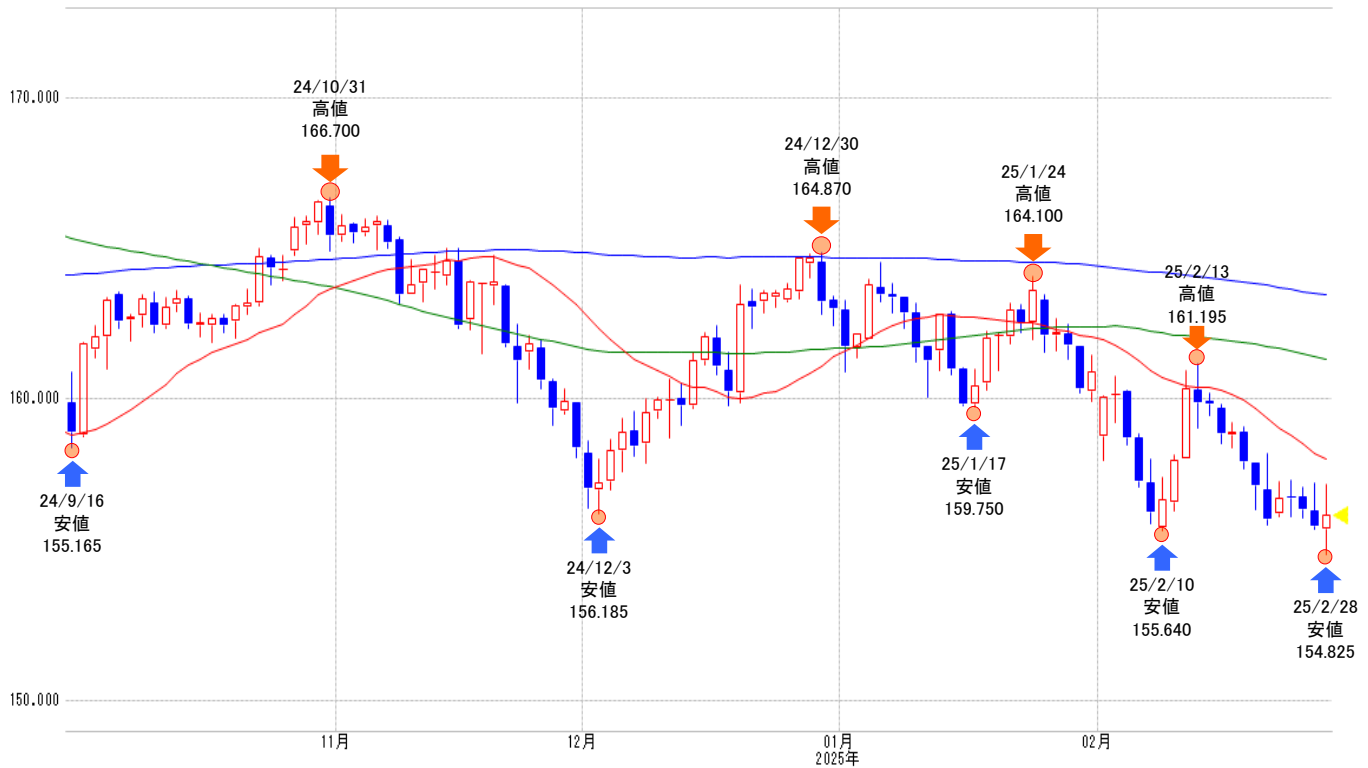
発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
3/4 0:00	2月ISM製造業景気指数		50.9	★★
3/6 0:00	2月ISM非製造業景気指数		53.0	★★
3/7 22:30	2月失業率		4.00%	★★
3/12 21:30	2月消費者物価指数(前年比)		3.00%	★★
3/13 21:30	2月生産者物価指数(前年比)		3.50%	★★
3/17 21:30	2月小売売上高(前月比)		-0.90%	★★
3/18 22:15	2月設備稼働率		77.80%	★★
3/20 3:00	FRB政策金利(下限～上限)		4.25%～4.5%	★★★★
3/24 22:45	3月製造業PMI		51.6	★★
3/27 21:30	第4四半期 実質GDP(前期比年率)		2.30%	★★

〈相場の格言〉大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠のくものである。)



2024年10月1日～2025年2月28日
 ユーロ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、短期のトレンドを示す21日移動平均線が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。2月の値動きから導き出した計算値(160.57)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、23/12/7安値(153.12)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(153.10)を下抜けた場合。この場合は23/6/14安値(150.90)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
3/3 18:00	2月製造業PMI		47.3	★★
3/3 19:00	2月消費者物価指数(前年比)		2.50%	★★
3/4 19:00	1月失業率		6.30%	★★
3/6 19:00	1月小売売上高(前年比)		1.90%	★★
3/6 22:15	ECB政策金利		2.90%	★★★
3/7 19:00	第4四半期GDP(前年比)		0.90%	★★
3/24 18:00	3月サービス業PMI		50.7	★★
3/24 18:00	3月製造業PMI		47.3	★★
3/27 19:00	3月景況感指数		96.3	★★

ポンド/円 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 193.70円
 ↓ 185.80円



2024年10月1日～2025年2月28日
 ポンド/円 [日足]

移動平均線：-短期(21)-中期(89)-長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、2/4高値(193.20)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。2月の値動きから導き出した計算値(193.67)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、9/17安値(185.85)がサポートになると予想しています。

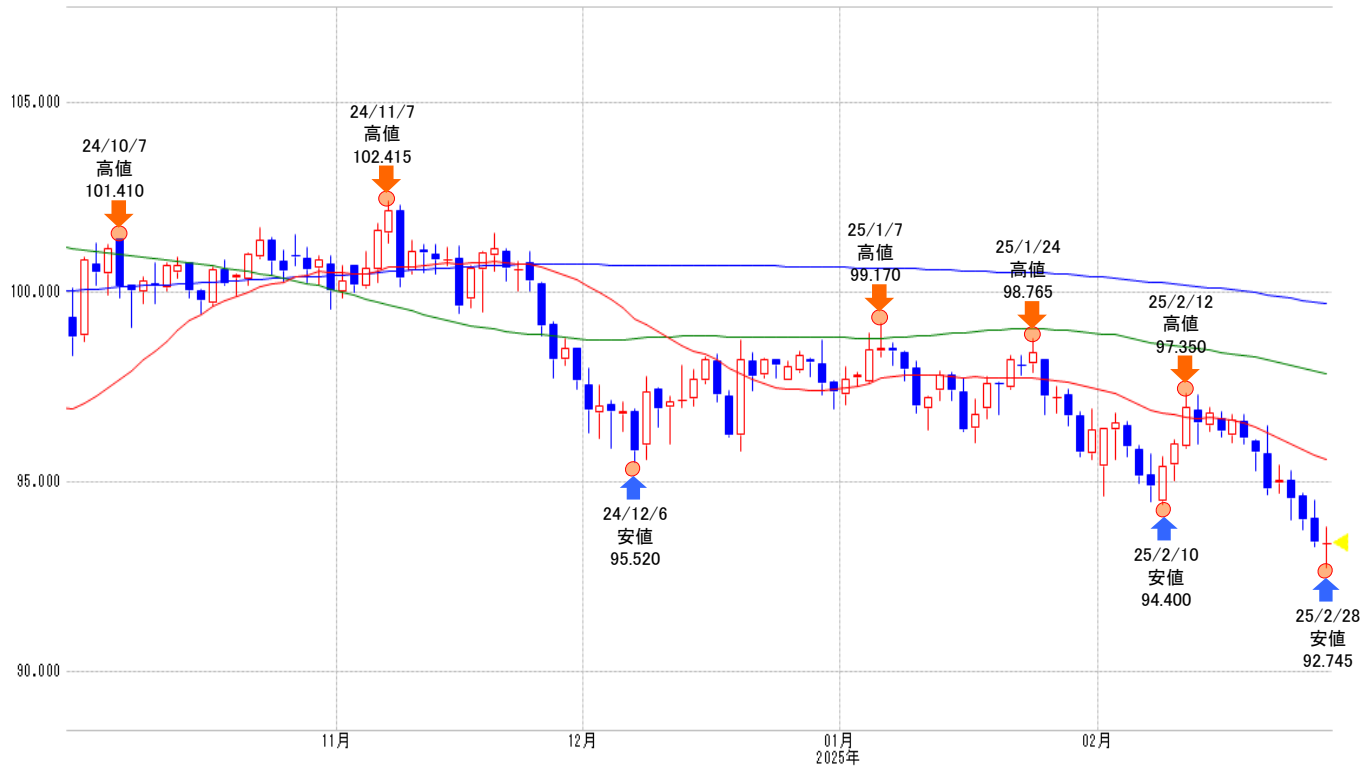
リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(185.80)を下抜けた場合。この場合は8/7安値(183.25)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

3/3 18:30	2月製造業PMI		46.4	★★
3/6 18:30	2月建設業PMI		48.1	★★
3/14 16:00	1月鉱工業生産指数(前年比)		-1.90%	★★
3/14 16:00	1月製造業生産高(前年比)		-1.40%	★★
3/14 16:00	1月月次GDP(前月比)		-1.80%	★★
3/16 16:00	2月失業率		4.60%	★★
3/20 21:00	英中銀政策金利		4.5%	★★★★
3/26 16:00	2月消費者物価指数(前年比)		3.00%	★★
3/26 16:00	2月小売物価指数(前年比)		3.6%	★★
3/28 16:00	第4四半期実質GDP(前年比)		1.4%	★★

〈相場の格言〉群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)



メインシナリオ 70%

実線は、1/29高値(97.45)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。2月の値動きから導き出した計算値(95.59)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、8/5安値(90.13)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(90.10)を下抜けた場合。この場合は23/4/28安値(88.39)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
3/4 9:30	1月小売売上高(前月比)		-0.1%	★★
3/5 9:30	第4四半期実質GDP(前年比)		0.8%	★★
3/11 8:30	2月消費者信頼感指数(前月比)		-0.7%	★★
3/11 9:30	2月企業景況感		3.0	★★
3/19 8:30	2月先行指数(前月比)		0.12%	★★
3/20 9:30	2月失業率		4.10%	★★
3/20 9:30	2月正規雇用者数(前月比)		5.41万人	★★
3/26 9:30	2月消費者物価指数(前年比)		2.5%	★★

メキシコペソ/円 【逆張り方針】

予想レンジ

↑ 7.510円
↓ 6.980円



2024年10月1日～2025年2月28日
メキシコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、1/27高値(7.655)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。2月の値動きから導き出した計算値(7.510)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、9/11安値(6.985)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(6.980)を下抜けた場合。この場合は23/3/20安値(6.785)を試す展開が考えられます。

@ 今月の経済指標発表スケジュール

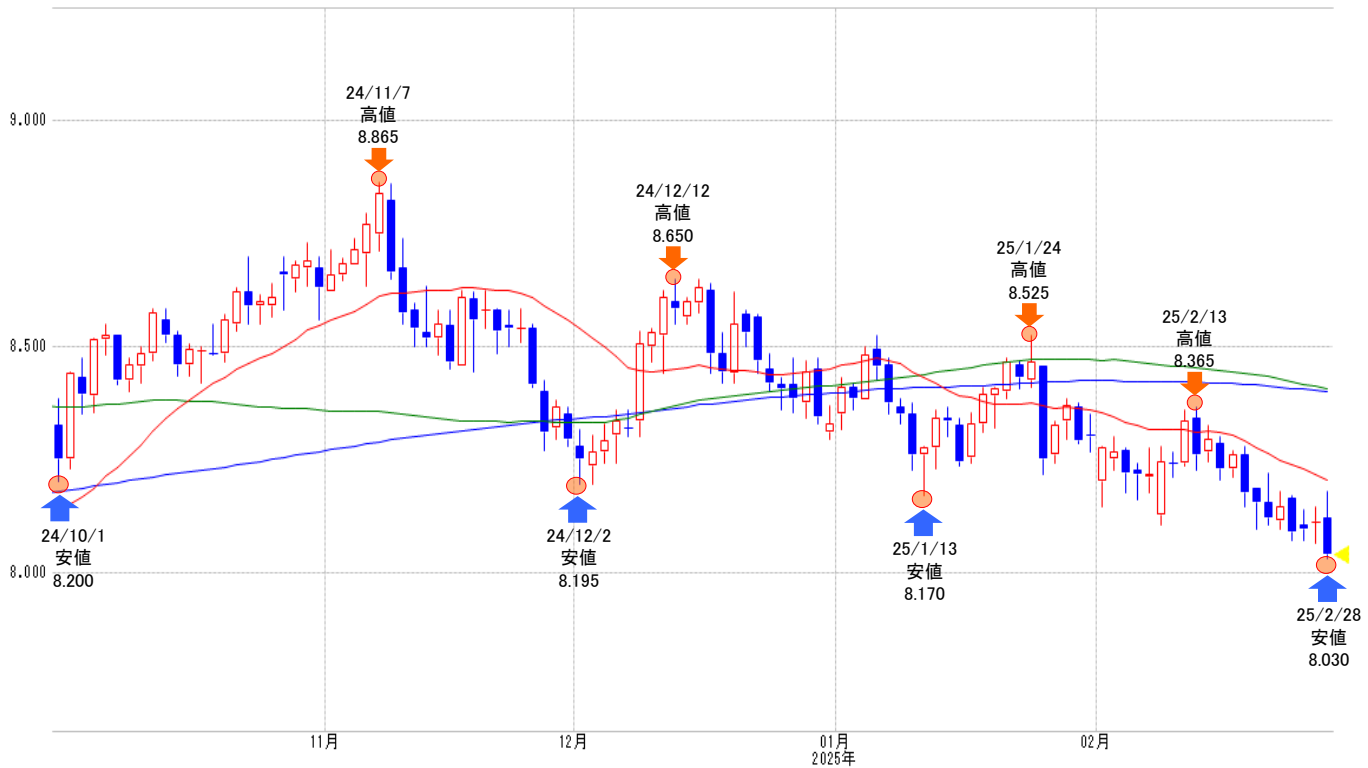
発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
3/7 21:00	2月消費者物価指数(前年比)		3.59%	★★
3/13 21:00	1月鉱工業生産指数(前年比)		-1.40%	★★
3/27 21:00	2月貿易収支		25.668億USD	★★
3/28 4:00	メキシコ中銀政策金利		9.50%	★★★★
3/28 21:00	2月失業率		2.70%	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)



2024年10月1日～2025年2月28日
 ランド/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(83) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、1/30高値(8.375)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。2/19高値(8.280)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、2月の値動きから導き出した計算値(7.780)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(7.780)を下抜けた場合。この場合は8/5安値(7.600)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
3/4 8:30	日本	1月完全失業率		2.40%	★★
3/7 22:30	カナダ	2月失業率		6.60%	★★
3/11 8:50	日本	第4四半期実質GDP(前期比年率)		2.80%	★★
3/12 22:45	カナダ	カナダ中銀政策金利		3.00%	★★★★
3/18 21:30	カナダ	2月消費者物価指数(前年比)		1.90%	★★
3/19 時間未定	日本	日銀政策金利		0.50%	★★★★
3/19 17:00	南ア	2月消費者物価指数(前年比)		3.20%	★★
3/20 時間未定	南ア	南ア中銀政策金利		7.50%	★★★★
3/21 8:30	日本	2月消費者物価指数(CPI)(前年比)		4.00%	★★
3/28 21:30	カナダ	1月実質GDP(前年比)		2.20%	★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)

トルコ/円 【逆張り方針】

予想レンジ ↑ 4.30円
↓ 3.90円



2024年10月1日～2025年2月28日
トルコ/円 [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ 70%

実線は、1/27高値(4.39)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。また21日・89日・200日移動平均線はいずれも下降しており、基調の弱さが示されつつあるものと考えます。2/12高値(4.30)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、2月の値動きから導き出した計算値(3.91)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ 30%

予想レンジの下限(3.90)を下抜けた場合。この場合は2月の値動きから導き出した計算値の下限(3.76)を試す展開が考えられます。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
3/3 16:00	2月消費者物価指数(前年比)		42.12%	★★
3/3 16:00	2月生産者物価指数(前年比)		27.20%	★★
3/3 16:00	2月製造業PMI		48.0	★★
3/6 20:00	トルコ中銀政策金利		45.00%	★★★
3/10 16:00	1月鉱工業生産指数(前年比)		7.00%	★★
3/12 16:00	1月経常収支		-46.5億USD	★★
3/21 16:00	3月消費者信頼感指数		82.1	★★
3/25 16:00	3月設備稼働率		74.50%	★★
3/27 20:00	2月失業率		8.40%	★★
3/28 16:00	2月貿易収支		-75.4億USD	★★

<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

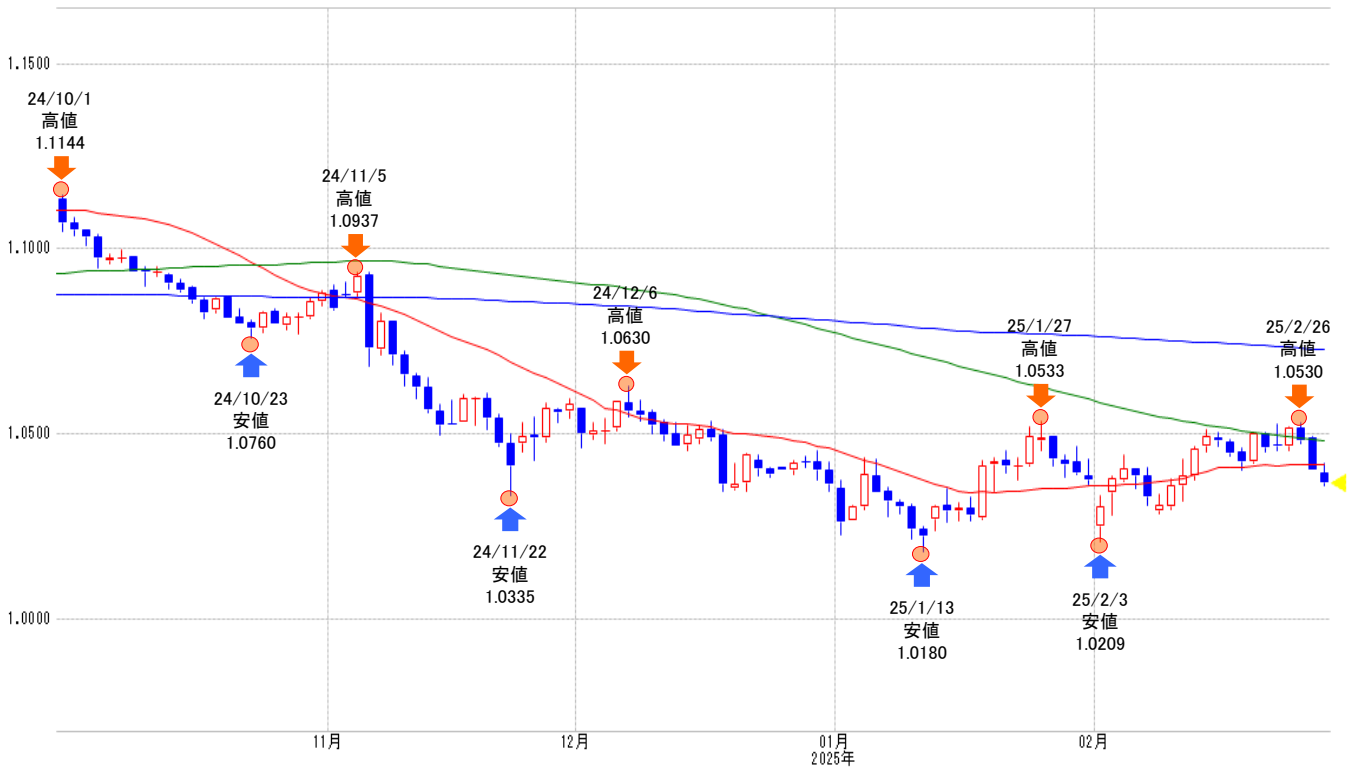
ユーロ/米ドル 【逆張り方針】

予想レンジ
 ↑ 1.0730
 ↓ 1.0290



2024年10月1日～2025年2月28日
 ユーロ/米ドル [日足]

移動平均線: -短期(21) -中期(89) -長期(200)



メインシナリオ **70%**

実線は、1/27高値(1.0533)が抵抗となり、上値の重い動きとなっています。21日移動平均線は上昇、89日・200日移動平均線は下降しており、方向感の無さが伺え、レンジ内での動きが予想されます。200日移動平均線(1.0728)では上値を抑えられやすいと考えます。一方、2月の値動きから導き出した計算値(1.0292)がサポートになると予想しています。

リスクシナリオ **30%**

予想レンジの下限(1.0290)を下抜けた場合。この場合は22/11/11安値(1.0167)を試す展開が考えられます。

② スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

		ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	メキシコ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
24年	3月	6,753円	5,536円	8,375円	3,647円	7,632円	5,082円	1,324円	-11.39ドル
	4月	7,955円	6,402円	9,682円	4,224円	9,036円	5,833円	1,357円	-13.32ドル
	5月	6,864円	5,509円	8,436円	3,703円	8,046円	5,202円	974円	-14.85ドル
	6月	6,759円	5,253円	8,369円	3,783円	7,318円	5,098円	1,119円	-13.73ドル
	7月	7,861円	5,997円	9,834円	4,597円	8,251円	6,120円	1,396円	-16.90ドル
	8月	6,511円	4,991円	7,880円	3,348円	6,654円	5,226円	1,324円	-15.55ドル
	9月	6,093円	4,790円	7,760円	3,323円	6,180円	4,795円	1,085円	-14.46ドル
	10月	6,827円	5,110円	9,117円	3,981円	7,344円	5,708円	1,124円	-15.49ドル
	11月	5,464円	3,995円	7,115円	3,203円	6,378円	4,857円	896円	-12.14ドル
	12月	6,885円	4,858円	9,366円	3,772円	7,845円	5,755円	1,212円	-16.18ドル
25年	1月	5,517円	3,906円	7,412円	3,273円	5,880円	4,836円	1,060円	-12.48ドル
	2月	4,893円	3,073円	6,297円	2,842円	5,139円	4,253円	928円	-13.64ドル
	計	78,382円	59,420円	99,643円	43,696円	85,703円	62,765円	13,799円	-170.13ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)

【各国基礎データ】

		日本	米国	ユーロ	英国	豪州	NZ	カナダ	南ア	トルコ	メキシコ
政策金利	2024年9月	0.25	5.00	3.65	5.00	4.35	5.25	4.25	8.25	50.00	10.75
	2024年10月	0.25	5.00	3.40	5.00	4.35	4.75	3.75	8.00	50.00	10.50
	2024年11月	0.25	4.75	3.40	4.75	4.35	4.25	3.75	7.75	50.00	10.25
	2024年12月	0.25	4.50	3.15	4.75	4.35	4.25	3.25	7.75	47.50	10.00
	2025年1月	0.50	4.50	2.90	4.75	4.35	4.25	3.00	7.50	45.00	10.00
	2025年2月	0.50	4.50	2.90	4.50	4.10	3.75	3.00	7.50	45.00	9.50
失業率	2024年8月	2.5	4.2	6.4	4.7	4.2	4.8	6.6	32.1	8.5	3.0
	2024年9月	2.4	4.1	6.3	4.7	4.1	4.8	6.5	32.1	8.6	2.9
	2024年10月	2.5	4.1	6.3	4.7	4.1	5.1	6.5	31.9	8.8	2.5
	2024年11月	2.5	4.2	6.3	4.6	3.9	5.1	6.8	31.9	8.6	2.6
	2024年12月	2.5	4.1	-	4.6	4.0	5.1	6.7	31.9	8.5	2.4
	2025年1月	2.5	4.0	-	4.5	4.1	-	6.6	-	8.4	2.7
GDP	2023年 3Q	-2.9	4.9	0.1	0.2	2.1	-0.6	-1.1	-0.7	5.9	3.3
	2023年 4Q	0.4	3.9	0.1	-0.2	1.5	-0.3	1.0	1.2	4.0	2.5
	2024年 1Q	-1.8	2.8	0.6	0.3	1.1	0.3	1.1	0.5	5.7	2.2
	2024年 2Q	0.9	2.8	0.9	1.0	1.0	-0.5	2.1	0.3	2.5	1.5
	2024年 3Q	1.2	3.1	0.9	0.9	0.8	-1.5	1.0	-	2.1	1.6
	2024年 4Q	2.8	2.3	0.9	1.4	-	-	2.6	-	3.0	0.6
10年国債	2024年9月	0.864	3.787	2.132	4.009	3.963	4.279	2.956	8.845	28.49	9.679
	2024年10月	0.943	4.296	2.392	4.449	4.572	4.532	3.246	9.315	30.61	10.424
	2024年11月	1.044	4.177	2.087	4.244	4.372	4.468	3.083	8.903	27.35	9.896
	2024年12月	1.082	4.573	2.362	4.566	4.367	4.588	3.225	9.035	27.15	10.416
	2025年1月	1.242	4.542	2.459	4.534	4.431	4.590	3.063	10.375	25.12	10.023
	2025年2月	1.360	4.202	2.386	4.313	4.308	4.502	2.898	10.530	25.93	9.476

【免責事項】

- AIゴールド証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはAIゴールド証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のAIゴールド証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,100円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,100円のうち770円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:1枚あたり片道220円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は220円のうち110円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり1,660円～77,570円(2025年3月3日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

AIゴールド証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@aigold.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員